

# 巨福寺だより

第19号 令和4年正月

発行者：日蓮宗 素南山 巨福寺

## 瑞 祥 新 春

巨福寺修徒 栃木県 琉游舎 戸井 出琉上人 コラム③

世界がとてつもなく遠いところとなって2年が経とうとしています。スピードで短縮してきた世界との距離が、コロナ禍によって関所を徒歩で通った昔に戻ってしまったようです。身延山や巨福寺の往来も制限され、琉游舎からは遠いところとなってしまいました。

日蓮聖人は大雨・洪水・地震・火山噴火・疫病などの打ち続く天変地異と社会不安について思索した結果、正法(法華経)に帰依する(立正)ことで国と民が安泰になる(安国)と確信し「立正安国論」を幕府へ建白しました。自然災害が激しさを増している今の日本の状況とそっくりです。そしてついに新型コロナウイルスが海の向こうから侵略してきました。これは聖人の預言された「他国侵逼難(蒙古襲来)」の令和版かもしれません。

「立正安国論」は未だに誤解されている書です。舌鋒鋭く論理明晰のゆえに聖人は多くの非難と迫害を受け、過激な政治思想の持ち主として何度も命の危険にさらされてきました。しかし、実は私たち「民」の安全と心安らかな生活を実現するための聖人の誓願と行いの書なのです。国宝として今に残る真筆で聖人は三つの「くに」を使い分けています。「國」「国」「園」の三種です。「國」は私たちの住む「国土」。「国」の中には「玉」がいます。国土を統治する王などの権力です。そして「園」の中には「民」がいます。私たち民衆のことです。「民」の住む「国土(國)」が「正しい法(国)」によって「安園」となるための思想です。つまり私たちの住むこの現世を靈山浄土とするための「園」なのです。

今が鎌倉時代と同じ状況だとしても、私たち「民」が足下から聖人の教えのままに身の丈に合った信行一致の日々を送るならば、必ずこの園は「豊かで楽しく心安らかな」靈山浄土になるはずです。距離がどんなに遠くコロナ禍の関所が嚴重でも、信行は空間を隔てません。聖人の教えは巨福寺と琉游舎の時空を超えて私たちに安らぎの道を指し示してくれます。その道のままに今年も栃木の地から皆さんとともに歩いてゆきたいと思います。

琉游舎 ホームページ

ryuyusha.com 配信中



矢板市 琉游舎 (戸井上人は布教や地域福祉等々ご活躍中です)

## ANA HD 相談役(前会長) 大橋洋治さん ご参拝・ご来訪

昨年12月16日、ANAホールディングス株式会社・相談役(前会長)の大橋洋治さんが、巨福寺の埴原家墓参にお越しになりました。大橋さんは、戦中戦後混乱の最中、お母様の故郷である高梁で、ご親戚の巨福寺檀家・埴原家(石火矢町)にて小学2年から6年までお世話になっていたそうです(高梁時代はかなりのわんぱくだったようです笑)。後に全日空に入社、2001年に代表取締役社長就任、同会長、2013年にはANAホールディングス株式会社・取締役会長から現・相談役として、また社外においても経団連など様々な重責を荷われ、日本経済界において莫大な功績を今なお残し続けておられます。また備中高梁の稀代藩政改革名士・山田方谷さんの教えをご自身の経営哲学の礎とされ、さらにはご自身の高梁時代の思い出をこよなく愛されていることから、高梁市市政アドバイザーとしてや、『山田方谷』NHK大河ドラマ化実現にむけてなど、今もなお高梁市にご尽力くださっております。(現在81歳)



念願の埴原家墓参をされる大橋さん



高梁市・近藤市長とともに



お手伝い頂いた藤野さん・中村さん

## 巨福寺恒例 歳末水行会開催

昨年末も28日から大晦日31日まで、恒例の水神祭・水行会が行われ、極寒の中、檀信徒内外から大勢の丹精者が日蓮宗の僧道修行の1つ「水行」を体験され、その年1年の穢をされ、身も心もしっかり清められました。

毎年未行っておりますので、心身鍛錬に興味のある方は震ってご参加ください。水を被られない方も願掛け短冊にてご参加できます。



JA 晴れの国岡山びほく有志の皆様



高梁市内 有志の皆様(29日)



☆「巨福寺」「巨福寺ペット霊園」ホームページ 配信中☆

◎今後の行事予定 : 1月14日(金)14時~ お焚上げ 1月30日(日)14時~ 節分会・福引き抽選

2月15日(火)14時~ 釈尊涅槃会 3月18日~24日 春彼岸 4月29日(金)花まつり・総会